



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 菱電商事株式会社

コード番号 8084 URL <http://www.rvoden.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山下 聡

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 宇野 悟

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	163,627	△4.2	2,304	△37.7	2,329	△46.3	1,149	△59.2
27年3月期第3四半期	170,734	6.0	3,697	10.1	4,337	16.5	2,817	19.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 1,011百万円 (△72.9%) 27年3月期第3四半期 3,726百万円 (2.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	26.52	26.48
27年3月期第3四半期	65.00	64.96

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	121,390	61,401	50.5	1,415.50
27年3月期	125,121	61,444	49.1	1,417.10

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 61,348百万円 27年3月期 61,426百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	13.00	—		
28年3月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	226,300	△4.9	3,570	△28.5	3,570	△20.8	2,000	△30.8	46.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	45,649,955 株	27年3月期	45,649,955 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,309,776 株	27年3月期	2,303,395 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	43,342,814 株	27年3月期3Q	43,347,563 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国が堅調な拡大基調にあるものの、中国などの新興国経済の減速や原油価格の下落などにより先行き不透明感を強めています。

一方、国内経済は、企業収益や設備投資の改善が見られるなど、景気は回復基調が続いていますが、中国経済の下振れ懸念などリスク要因を抱えています。

当社グループの取引に関する業界は、前半堅調だった産業機器関連、省エネルギー関連も一部で伸び悩みを見せ、自動車関連では北米向けは堅調でしたが、国内及び中国・アセアン向けは低調に推移しました。

このような状況下、当社グループは、ワールドワイドに顧客に付加価値を提供する「グローバル・ソリューション・プロバイダー」への進化を図るべく中期経営計画「GSP・15 (Growth Strategy Plan 2015)」の最終年度として、諸施策への取り組みを加速させています。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,636億27百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益23億4百万円(前年同期比37.7%減)、経常利益23億29百万円(前年同期比46.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益11億49百万円(前年同期比59.2%減)となりました。

第2四半期連結会計期間において、リョーコー株式会社は清算終了(平成27年9月30日)したため、連結の範囲から除外しております。

なお、清算終了時までの損益計算書については連結しております。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

①FA・環境システム

【当第3四半期連結売上高513億24百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益7億47百万円(前年同期比27.1%減)】

FAシステムでは、当社主力市場の工作機械関連の生産は堅調に推移しましたが、半導体・液晶関連製造装置関連が振るわず、また自動車関連及び太陽光発電関連の設備投資も伸び悩み、減収となりました。

冷熱住機では、卸店及び中小設備業者を中心とした販売ルート向け案件が増加傾向にあり、また節電・省エネ対応のリプレース需要が堅調に推移し、増収となりました。

ビルシステム・情報通信では、メディカル、セキュリティ関連の販売が堅調に推移しましたが、基幹商品であるエレベーター・IT関連が低調で、大幅な減収となりました。

②エレクトロニクス

【当第3四半期連結売上高1,123億3百万円(前年同期比5.7%減)、営業利益15億67百万円(前年同期比41.5%減)】

国内では、産業機器関連はFA関連ビジネスや省エネ関連ビジネスが前半堅調に推移しましたが後半低迷し、自動車関連は、北米向けは堅調でしたが国内向け販売が低調で、減収となりました。

海外子会社では、OA機器関連製品はアジア地域で電子部品の販売が堅調に推移し、自動車関連製品は北米地域での販売は堅調に推移しましたが中国・アセアン地域での販売が振るわず、減収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が36億29百万円、有価証券が9億0百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が46億70百万円、商品及び製品が4億62百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比37億30百万円減少し、1,213億90百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が35億47百万円、短期借入金が6億96百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比36億87百万円減少し、599億89百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益を10億11百万円、配当金を10億83百万円計上したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末比42百万円減少し、614億1百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比1.4ポイント増加し、50.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比41億35百万円増加し、195億48百万円の残高となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動から得られた資金は、62億89百万円（前年同期比90億32百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益22億14百万円の計上と、売上債権・たな卸資産・仕入債務の減少によるネット資金の増加16億68百万円、法人税等の支払11億0百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、3億75百万円（前年同期比2億50百万円支出減）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得支出6億87百万円と、投資有価証券の売買によるネット収入1億69百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、16億17百万円（前年同期比4億38百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払10億28百万円、短期借入金の減少5億83百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の経済状況は、中国経済の減速、株価の急落、原油価格の下落など、引き続き厳しい経済環境で推移するものと予想されます。

当社グループは、このような状況下でもソリューション事業の強化による収益性の確保と利益ある持続的な成長に向けた諸施策への取り組みを更に加速させてまいります。

しかしながら、通期の業績予想につきましては、経営環境悪化による影響は避けがたく、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、平成27年5月15日に公表いたしました予想数値を修正させていただきます。

なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,419	19,048
受取手形及び売掛金	64,452	59,782
有価証券	453	1,354
商品及び製品	21,670	21,208
その他	6,937	4,498
貸倒引当金	△93	△229
流動資産合計	108,840	105,663
固定資産		
有形固定資産	4,880	4,877
無形固定資産	575	602
投資その他の資産		
その他	10,866	10,282
貸倒引当金	△41	△34
投資その他の資産合計	10,824	10,248
固定資産合計	16,281	15,727
資産合計	125,121	121,390
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,939	40,392
電子記録債務	8,908	9,271
短期借入金	2,706	2,010
未払法人税等	460	406
その他	3,194	3,188
流動負債合計	59,209	55,269
固定負債		
退職給付に係る負債	3,280	3,458
その他	1,186	1,260
固定負債合計	4,466	4,719
負債合計	63,676	59,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,380	7,380
利益剰余金	41,585	41,651
自己株式	△857	△863
株主資本合計	58,442	58,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,744	1,834
為替換算調整勘定	1,426	1,194
退職給付に係る調整累計額	△187	△182
その他の包括利益累計額合計	2,983	2,845
新株予約権	18	53
純資産合計	61,444	61,401
負債純資産合計	125,121	121,390

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	170,734	163,627
売上原価	153,157	146,633
売上総利益	17,576	16,994
販売費及び一般管理費	13,879	14,690
営業利益	3,697	2,304
営業外収益		
受取利息	51	63
受取配当金	136	131
持分法による投資利益	22	62
為替差益	497	—
その他	95	83
営業外収益合計	803	340
営業外費用		
支払利息	40	33
売上割引	57	64
売上債権売却損	54	44
その他	11	173
営業外費用合計	163	315
経常利益	4,337	2,329
特別利益		
投資有価証券売却益	—	62
特別利益合計	—	62
特別損失		
関係会社株式評価損	—	177
特別損失合計	—	177
税金等調整前四半期純利益	4,337	2,214
法人税等	1,519	1,064
四半期純利益	2,817	1,149
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,817	1,149

(四半期連結包括利益計算書)

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,817	1,149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	578	89
為替換算調整勘定	221	△231
退職給付に係る調整額	107	4
持分法適用会社に対する持分相当額	1	—
その他の包括利益合計	908	△138
四半期包括利益	3,726	1,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,726	1,011
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,337	2,214
減価償却費	368	381
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	129
受取利息及び受取配当金	△188	△194
支払利息	40	33
持分法による投資損益(△は益)	△22	△62
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△62
関係会社株式評価損	—	177
売上債権の増減額(△は増加)	△2,585	4,225
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,420	269
仕入債務の増減額(△は減少)	1,481	△2,827
その他	196	2,935
小計	△802	7,220
利息及び配当金の受取額	225	200
利息の支払額	△38	△32
法人税等の支払額	△2,127	△1,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,743	6,289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,000	—
有価証券の償還による収入	1,300	200
有形固定資産の取得による支出	△489	△512
有形固定資産の売却による収入	5	165
無形固定資産の取得による支出	△207	△175
投資有価証券の取得による支出	△684	△784
投資有価証券の売却による収入	416	953
短期貸付金の増減額(△は増加)	—	△270
その他	33	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△626	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△173	△583
自己株式の純増減額(△は増加)	2	△5
配当金の支払額	△1,007	△1,028
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,179	△1,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	31	△160
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,517	4,135
現金及び現金同等物の期首残高	21,556	15,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,039	19,548

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA・環境 システム	エレクト ロニクス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	51,689	119,044	170,734	0	170,734	—	170,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	2	6	115	122	△122	—
計	51,694	119,046	170,740	116	170,856	△122	170,734
セグメント利益(営業利益)	1,024	2,677	3,702	24	3,726	△29	3,697

(注)1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおりま
す。

2. セグメント利益の調整額△29百万円は、セグメント間取引消去であります。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	FA・環境 システム	エレクト ロニクス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	51,324	112,303	163,627	0	163,627	—	163,627
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	16	16	△16	—
計	51,324	112,303	163,628	16	163,644	△16	163,627
セグメント利益(営業利益)	747	1,567	2,314	2	2,316	△12	2,304

(注)1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおりま
す。

2. セグメント利益の調整額△12百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. 補足情報

ご参考までに、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の地域別売上高は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外						連結合計
	アジア		北米	欧州	その他	海外計	
	中国	その他					
(73.0%) 124,572	(12.8%) 21,865	(9.0%) 15,341	(1.8%) 3,156	(3.4%) 5,794	(0.0%) 3	(27.0%) 46,161	(100.0%) 170,734

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外						連結合計
	アジア		北米	欧州	その他	海外計	
	中国	その他					
(74.7%) 122,203	(12.0%) 19,645	(8.2%) 13,360	(2.3%) 3,835	(2.8%) 4,582	— —	(25.3%) 41,423	(100.0%) 163,627

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。